

平成23年度 第5回 九州工業大学 経営協議会 議事次第

日 時 平成24年 3月16日（金） 15:00～17:00

場 所 鳳龍会館 会議室

開 会

- 議長挨拶
- 欠席者等の案内
- 平成23年度 第4回議事要旨の確認

〔審議事項〕

- (1) 国立大学法人九州工業大学役員給与規程の一部改正について
- (2) 平成24年度予算編成方針について
- (3) 平成24年度年度計画について

〔報告事項〕

- (1) 各種センターの設置等について
- (2) 平成22年度決算剰余金の繰越承認について
- (3) 平成24年度の教育職員評価の具体的検討について
- (4) 国家公務員の給与の改定及び臨時特例等に関する法律について
- (5) 寄附講座の継続設置について
 - ①プロアクティブメンテナンス (TAKADA)
 - ②ナノポーラスマテリアル (JGC C&C)
- (6) 平成23年度科学研究費補助金獲得状況について
- (7) 平成24年度入試状況について
- (8) 平成23年度就職状況について

〔その他〕

- (1) 機能強化に向けた取り組み状況について

議長謝辞

閉 会

国立大学法人九州工業大学経営協議会議事要旨（平成23年度第5回）

1. 日時 平成24年3月16日（金）15：00～17：09
2. 場所 戸畑キャンパス 鳳龍会館 会議室
3. 出席者 片山委員、工藤委員、潮谷委員、濱田委員、山本委員（五十音順）
学長、理事（評価・総務担当）、理事（教育・情報担当）、
理事（研究・産学連携担当）、理事（財務担当）、
副学長（事務・労務担当）、
情報工学研究院長、生命体工学研究科長
4. 列席者 監事（教育・研究担当）、監事（経営・財務担当）

5. 会議成立

構成員18名のところ、13名の出席により定足数を満たしていることが確認された。

6. 議長挨拶

議長から、開会にあたり挨拶があった。

また、「九工大世界トップ技術 Vol. 3」の出版についての紹介があった。

7. 議事録の確認

平成23年度第4回経営協議会（平成24年1月20日）の議事要旨について確認が行われ、了承された。

8. 審議事項

（1）国立大学法人九州工業大学役員給与規程の一部改正について

資料に基づき説明が行われ、本学の非常勤役員手当の対象者に理事を追加することについて了承された。

（2）平成24年度予算編成方針について

資料に基づき、平成24年度予算編成方針案について、支出全般にわたり原則1%減を図る一方で、大学改革・改組関連や安全安心対策のための経費を計上することなどについての説明があった。引き続き関連した意見交換が行われ、運営費交付金の示達に伴う変更は学長に一任することとし、原案のとおり承認された。

（○：学外委員、△：学内委員）

○： 「特許出願費用」の中に、海外特許維持費なども含まれているのか。

△： 法人化前に取得した特許については、維持費も含め国の予算により対応されている。また、法人化後3年間は、特別措置の範囲内で国の予算により対応しているので、現在のところ特許維持費はあまり発生していない。

外国出願も実施しているが、外部機関の支援もあって今年度の予算計上となっている。

- ： 「授業料収入」「入学料収入」とともに増となっているが、退学者なども含めて計上しているのか。
- △： 学生数は退学者分も加味した実績ベースで試算されている。
- ： 23年度は震災の影響の節電などで光熱費が減になったと思うが、今年度はその分も考慮した上の増額となっているのか。
- △： 本学の節電は「ピークカット」を目標として実施しており、総使用量の大幅カットとまでは至らなかった。今年度の光熱費は単価の大幅増が見込まれており、23年度の節電を鑑みても増額した予算を計上している。

(3) 平成24年度年度計画について

資料に基づき、平成24年度年度計画について審議が行われた。

文章表現を一部見直した上で、3月末に文部科学省へ提出することが了承された。

9. 報告事項

(1) 各種センターの設置等について

「グリーンイノベーション実践教育研究センター」、「バイオメディカルインフォマティクス研究開発センター」の設置、及び「先端エコフィッティング技術研究開発センター」の存置について報告が行われた。

なお、濱田委員より、強いリーダーシップを発揮してシナジーを実現しアウトプットを出す必要があるとの意見があり、学長より、各センターのリーダーシップ体制等について説明があった。

(2) 平成22年度決算剰余金の繰越承認について

資料に基づき、平成22年度決算剰余金について、文部科学省より承認されたことが報告された。

(3) 平成24年度の教育職員評価の具体的検討について

資料に基づき、平成23年11月11日に報告した教育職員評価の骨子のうち、検討課題となっていた事項についての検討結果が報告された。

(4) 国家公務員の給与の改定及び臨時特例等に関する法律について

資料に基づき、国家公務員の給与の改定状況について報告が行われた。また、本学の給与改定の実施案については現在検討中であり、4月以降の経営協議会で議論し、必要に応じて実施する旨の発言があった。

(5) 寄附講座の継続設置について

資料に基づき、株式会社高田工業所から申込のあった、大学院生命体工学研究科への寄附講座「プロアクティブメンテナンス (TAKADA)」及び日揮触媒化成株式会社から申込のあった、大学院生命体工学研究科への寄附講座「ナノポーラスマテリアル (JGC C&C)」の継続設置について報告が行われた。また、九州電力からの寄附講座について、現在手続き中である旨の説明があった。

(6) 平成23年度科学研究費補助金獲得状況について

資料に基づき、平成23年度の本学の科学研究費補助金の獲得状況について報告が行われた。

(7) 平成24年度入試状況について

資料に基づき、平成24年度九州工業大学入試状況について報告が行われた。受験生の増減について調査をし、広報活動と連携していきたい旨の発言があった。

また、学外委員からの質問に対して下記のとおり回答があった。

- ・ 海外からの留学生の受け入れについて、私費留学生は今年度は減少した。一般試験を受けての合格はなかなか厳しいのが現状である。
- ・ 全国的に理系の女子を増やそうという動きがあり、理系女子学生は少しずつ増加している。しかし、資格の取りやすい保健系に集中し、工学系は増えにくいのが現状である。情報工学部の2学科で「生物」を受験科目に入れ選択肢を増やしているので、今後、増加することを期待している。

(8) 平成23年度就職状況について

資料に基づき、平成24年2月末の就職の状況について報告が行われた。

10. その他

(1) 機能強化に向けた取り組み状況について

資料に基づき、機能強化に向けた取り組み状況について説明が行われ、4月以降の経営協議会にてご意見をいただきたい旨の依頼があった。また、新たな取り組みについては、できるだけ教職員（教育職員のみでなく、教育を支援する職員等も含む。）を増やし、できるだけ教育職員の業務量を増やさないようにしたいとの説明があった。

主な意見交換は以下のとおり。

(○：学外委員、△：学内委員)

○： いろいろなプログラムがあるが、系統立ててマトリックス的に行っていけるのか。全体が整理されたピクチャーを見てみたい。

△： いかにか全体像を見せるかは苦慮している。

学生のレベルに合わせて、意識を上げていける制度を検討したい。(トップ層は自主的に勉強ができる。現実的には意欲の低い層をいかに上げるか。ミドル層は学生の自主活動の支援を行っていきたい。) 授業よりインフォーマルな部分から学ぶことが多い。意欲を持ってもらったら、語学力を高める機会を提供したい。

- ： 外国から九州工大へ来て勉強したいという学生も多いと思う。また、エリート教育も絶対に必要ではないか。
- △： 留学生の受け入れや日本の学生の留学も重要である。情報工学部の IIF プログラムでは優秀な人間にターゲットを絞ったプログラムも行っている。また、戸畑にトップの人材を優先的に集めた寮の設置も考えている。
- ： 色々な人材を集めてコーディネートする力が日本人は弱くなっていると感じる。
- △： そのような力のある学生を育てるため、優秀な学生には様々な体験をする機会を与えたい。